

伝統と価値観から始まる日本食文化

(Japan's Food Culture Stemming from the Traditional Values of Japanese Culture)

エイミー・リウ

Amy Liu

82371 Advanced Japanese I

1. はじめに

どうすれば食事の時に失礼な行動を避けられるか？日本文化のいろいろなタブーとマナーを一つずつ覚えるべきだろうか？そう悩んでいる自分が出した解決策は細かいルールより、全体的な方向と考え方を分かるほうが大事だということだと思う。だから、この文化プロジェクトは「日本文化の中には食事に対してどんな伝統と価値観があるか」を研究する。このトピックに熱心な理由は私が小さい頃母親の仕事の関係で日本に行ってきた後で和食料理に恋をしたからだ。いつか日本に戻った時は日本料理が全部食べられるように今は学んで準備している。今の段階の暫定的な結論は「食事に対して感謝と尊敬の気持ちで食べる」ということだ。例えば、日本には常にご飯を食べる前に挨拶したり食べ物で遊ばないという伝統と価値観があるという印象を持っている。

2. 日本文化の中には食事に対してどんな伝統と価値観があるか

2. 1. 食事をするときどんなマナーを守るべきか？してはいけないことはあるか？それぞれの起源はなんだろうか？

全体的な方向を考える前に具体的な例を見るべきだ。想像してみよう。ある晴れた昼、新しい友達や同僚、もしくは面接官と一緒にレストランで食事をする予定だ。会話が順調に進んでいて、美味しそうな肴がキッチンから現れ、鮮やかな並べ方で目の前に出てくる。すると、相手が食卓に肘をついて挨拶もせず口を開けながら音を立てる。数分後、携帯電話を使っているから、不用心に茶碗の中身をこぼした。最後に、嫌いな食べ物をいっぱい残して食器や蓋を返せずにバラバラで食事を終える。どうだろうか？多分二度とこんな相手と共食しないだろう。いまリストにした行動は全て平成21年で行った「食事に関する習慣と規範意識に関する調査」の選択肢だった。

これは現代食事習慣で生まれた態度ではない。むしろ、古代の伝統和食の方が厳密な制限がある。Premium Reservation というサイトに説明されているように、座布団の上げ方から茶碗の蓋の扱いまで、どれも細かい注意点がつけられている。一番使われている「両口箸」に関するタブーも12件もある。例えば、刺し箸（「突き刺して食べること」）や移し箸（「火葬場で骨を拾うように」箸と箸で食べ物を受け渡して食べる）、ねぶり箸（「箸先を口に入れて舐める」）などのやり方はしてはいけないことだ。

では、この数々の規則はどこから来たのだろうか？答えは二つの分野に別れたいと思う。一つ目は神様への尊敬の関係で採用するマナーだ。例えば、箸の話が続いて、平成16年の日本経済新聞によると、両口箸の一方は神様を迎えるために共に食事をするためだ。だから丁寧に使用しなければいけない。このような神様のための食器も幾つかもある。団子を供えるお盆の皿も神様に「お疲れ様」を言うためだ。これが敬意の部分の起源だと思われる。

もう一つの分野は食べ物と他の人への感謝の気持ちだ。これについて、詳しい感想を得るために何人かの日本人ゲストと外国人にインタビューをした。日本人ゲストの永嶋さん、藤田さん、高橋さん、安原さん、大森さんは日本出身で、一方、外国人ゲストのジョン先生は宮崎県で四年英語教師として働いて、それからディンさんは日本語を勉強している大学四年生だ。

ゲストに何で日本は「感謝を持っている」印象があるかについて聞いた。答えの中で永嶋さんが興味深い発想を言った：昔で食べ物が少ない時期が長かったので、食事ができる度、ありがたい気持ちが溢れる。これが続いて、現代のマナーになったということだと思われる。

その上、ジョン先生が「家族や料理人がせっかく作ってくれた食べ物だから、感謝の気持ちを伝えたい」と思う。まとめとして、この感謝は珍しさと思いから生まれた価値観だ。大森さんも重要な考え方を教えてくれた。それは他の人が一緒に食べてくれるためのルールもあるらしい。また箸についてだが、刺し箸や移し箸のタブーは他の人に葬式みたいな悪い思いを避けるために設置された。みんなが笑顔でいい思いを残すためのマナーだ。

2. 2 以上の質問の答えは日本文化限定なのか？それともほかの国にも似ているルールがあるか？

東アジアの文化はどこもほぼ同じだから、比べるなら西洋のマナーと日本マナーを比べよう。同じサイト「Premium Reservation」によると西洋では食器の持ち方の基本的なルールや食べる順番などのマナーはあるが、数は日本より少ない。それから、大抵の規則は貴族のような人々の高尚な食べ方のために設置された格式ある礼儀だ。逆に、外国人に驚くところもある。例えば、食べるときに音をするのは失礼ではないの上、却って味をほめるための行動だとディンさんがビックリした。

それでも、ジョン先生が面白い点を指摘した：日本の挨拶は短いがキリスト教徒の食事する前の祈りに似ている。これはまた日本人の感謝の気持ちを明かすことだ。

2. 3 今日日本で一番人気がある食べ物は何かですか？

ほとんどの調査とランキングで一位に輝いているのは「寿司」だった。NHKの放送文化研究所が平成19年に調査結果のグラフで表示するように、お寿司や刺身などの伝統的な和食が人気だ。エフプレスというサイトで行った調査で寿司を選んだ理由も付けた：「日本人のアイデンティティを感じるから」とか「色々な海鮮が楽しめるから」ということだ。

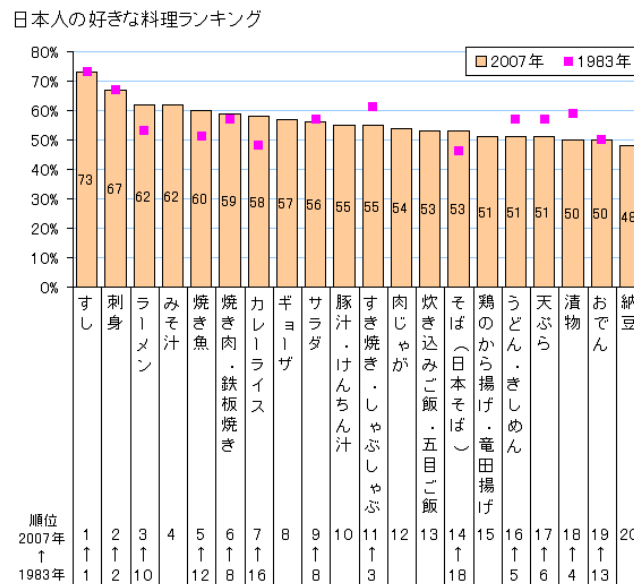


表 A. NHKの放送文化研究所「日本人の好きなもの」と「放送研究と調査」（平成19年12月）

インタビューしたゲストたちにも「大好きと大嫌いな食べ物とその理由」を聞いたところ、NHKの調査と一致する結果が出た：全員は和食が大好きだった。ジョン先生は麺類（とくにうどんとラーメン）、永嶋さんは納豆、高橋さんは刺身と焼肉、藤田さんは魚と寿司、そして安原さんも同じく魚が大好きだ。大嫌いな食べ物は油や脂身が多い食事と調味料をいす

ぎる料理だ。また、この好みの関係であまり調理し過ぎずに薄く材料を生かす和食の方が好きだと言った。さらに、安原さんが貴重なポイントを強調した：和食、とくに小さい頃からずっと食べていた魚には「おふくろの味」がある。

2. 4 社会全体では食べ物のどのポイントを注意するか？

この質問のためにゲストたちに食事の四つのポイントをランキングしてもらった。

	藤田さん	高橋さん	安原さん	ジョン先生	ディンさん	総合ランキング
一位	味	味	健康	味	味	味
二位	健康	健康	見た目	健康	値段	健康
三位	見た目	値段	味	見た目	健康	見た目
四位	値段	見た目	値段	値段	見た目	値段

表 B. インタビューで注意ポイントのランキング

皆さんが「味」を一位を選んだ理由はお金が困ってないから、価値がある限り美味しい食べ物を味わいたいという考え方だ。なぜ健康は二番かと言うと、理由は自分の体はとても大事で、長く生きれば食べ物がもっと食べられるらしいからだ。

3. 終わりに

日本の食文化を研究した後、いくつかの要点についてまとめようと思う。一つ目は日本人は確かにマナーのルールが多いが、食器への敬意と食べ物への感謝を分かればそれらの注意点が合理的になるだろう。例えば、昔から箸は神様と繋がるものだからタブーがそんなにたく

さんある。同じく、食事をありがたく思うから、ご挨拶や何も残らないと言うような習慣があるのではないか。それから二つ目は、日本人はどちらかというと和食に忠実だ。とくに小さい頃からずっと食べている味はとても懐かしくて慣れた結果、西洋での調味料や油をよく使う肴は苦手になってくると思う。そして最後の点は、皆さんは何よりも食べ物の「味」を大事にしていることだ。これはせつかく食事をするなら、美味しい味で過程を楽しむということだろうか。

こんな歴史と思いがこめられた食文化は素晴らしいと思う。食事は毎日食べて生活に必要なものなのに、物質が溢れているから、日本のような感謝を持つ文化がだんだん少なくなっていく。とくに大森さんが指摘したのはこの日本食文化の中でも食べ物が変わってないが、その食べ物に関する背景と風習がだんだん薄くなっている。だから、このリサーチを通してせめてその特徴を記憶に残して欲しい。

最後に、インタビューしてくれたゲストたちにとってもありがたいだ。こんなに面白い回答を得て、自分のリサーチを助けてくれた上、未来でもっと深く研究したいと思うようになった。

参考文献

- 内閣府「食事に関する習慣と規範意識に関するインターネット調査」『平成22年 食育白書』（平成21年12月）—「トピックによる日本語総合演習：テーマ探しから発表へ」より

- 岩下宣子 日本経済新聞 「箸を上手に ケとハレの文化」 (平成 16 年 1 月 3 日)
ー「トピックによる日本語総合演習：テーマ探しから発表へ」より
- Premium Reservation 伝統マナー：
<https://prmrsv.com/contents/manners/japanese.html>
- Premium Reservation 西洋マナー：<https://prmrsv.com/contents/manners/west.html>
- NHKの放送文化研究所「日本人の好きなもの」と「放送研究と調査」(平成 19 年 12 月)：<https://honkawa2.sakura.ne.jp/0332.html>
- エフプレスでの調査「日本人の一番好きな食べ物」(平成 30 年 6 月 6 日)：
https://www.excite.co.jp/News/column_g/20180606/Nicheee_2179082.html?_p=2
- 永嶋さん、藤田さん、高橋さん、安原さん 上級日本語 Iーグラフィインタビュー 平成 30 年 10 月 31 日
- ジョン先生 個人インタビュー 平成 30 年 11 月 9 日
- ディン・ブライアン先輩 個人インタビュー 平成 30 年 11 月 14 日
- 大森夏颯さん 上級日本語 Iー第二回 WA との会話セッション 平成 30 年 11 月 14 日